

実践！防犯マニュアル

子どもを 犯罪被害から守ろう



子どもを

子どもが被害に遭う犯罪は途絶えることなく、犯罪の種類も暴行や恐喝、わいせつ行為、誘拐など悪質化しています。犯罪は身近な場所で起こっていて、自分もいつ当事者にならないように気をつけましょう。

なるか分かりません。犯罪被害から子どもを守るために何をすべきか、どのように注意すればよいのか考えてみましょう。

取材協力／香川県警生活安全企画課

小学生以下の被害が増加

県

内でも中学生以下の子どもに対する声かけ事案は増加傾向にあり、昨年は160件、今年は9月末現在すでに152件が報告さ

れていました。ただし、これは氷山の一角。表面化していない事案を含めると実際はこの数倍の事案が発生していると考えられます。

特に今年は小学生以下の子どもが被害に遭うケースが目立ち、前年同期に比べてほぼ倍増しています。

「お菓子をあげるから、おいで」と誘ったり、後ろからつきまとうなどの被害が多い中、下半身を露出する公然わいせつ事件や男児への声かけ

などこれまで少数だったケースも増加傾向にあるのが特徴。県警本部生活安全企画課では「声かけ事案は性的犯罪につながるケースが多いので、事件を未然に防ぐためにも、すぐに報告してほしい」と呼び掛けています。

「下校途中に通学路で被害」

声

かけ事案は午後3～4時に集中して発生していて、1人で

地域で子どもを守っている雰囲気が止につながります。登下校の時間に合わせて散歩する、パトロールの腕章を付けて買い物に出掛けなど、地域で子どもを守っている意識も犯罪抑止につながります。

地域で子どもを守っている意識も犯罪抑止につながります。登下校の時間に合わせて散歩する、パトロールの腕章を付けて買い物に出掛けなど、地域で子どもを守っている意識も犯罪抑止につながります。

子どもの防犯意識を養う

子

どもが犯罪被害に遭わないようになるため、最終的に必要なのは「子ども自身の防犯意識」で

- 1 ついていかない
- 2 知らない人の車にのらない
- 3 おおきな声を出す
- 4 すぐに逃げる
- 5 大人にしらせる

特に大きな声で叫ぶことは相手を威嚇すると同時に、周囲に助けを求める上で重要です。いざという時にも声が出せるよう、普段から訓練し、防犯ブザーの音もちゃんと鳴るかどうか確認しておきましょう。

いかのおすし

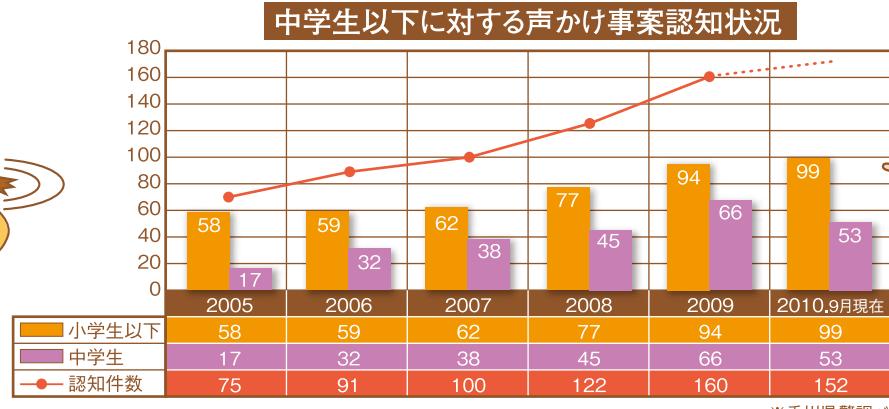
お役立ちサイト紹介 県警メルマガ「ヨイチメール」

香川県内で発生した子どもへの声かけやつきまといなどを、携帯電話やパソコンなどに配信する県警のメールマガジン。登録はQRコードまたは県警のホームページ(<https://www.yoichi.pref.kagawa.jp/>)から。





いや！
いや！



Q6

公園で樹木の陰やトイレに連れ込まれた

公園での一人遊びはしない

▶友だちと離れて遊ばない▶トイレに行くときは必ず友達について来てもらうようする

Q5

「新しいゲームソフトを見に行こう」「犬を探して」「困っているので助けて」など言葉巧みに話しかけて来て、連れ去ろうとした

日ごろから、知らない人には付いていかないように念を押しておく▶知っている人でも「家の人に聞いてから」と答えるようにする▶名札や名前入りの持ち物は「○○さん」と声を掛けられやすいので、目につかないようにする

Q4

エレベーターに乗っている時に体を触られた

エレベーターに知らない人と2人きりで乗らない▶1人で乗っているときに知らない人が乗ってきたら、近くの階で降りる▶壁を背にするように立つ▶すぐにボタンを押せる位置に立つ

こんな時、どうする

【犯罪事例と対応策】

Q1

車から道を尋ねるフリをして声を掛けられ、近づいた瞬間に車内に引っ張り込まれた

Q2

車から声を掛けられたら、1m以上車から離れる

Q3

自宅のカギを開けた瞬間、後ろから押されて、室内に押し込まれた

カギを開ける前に周囲を見回し、安全確認することを習慣化する▶隣近所の付き合いを密にし、留守のときは頼んでおく▶自宅周辺を整理し、死角をつくらないようにする

Q4

宅配や集金の人を装ってドアを開けさせ、中に押し入ってきた

知らない人に対しては絶対にドアを開けないことを日ごろから約束しておく▶チェーンを常に掛けることを習慣化する▶電話で大人の不在を確認するケースもあるので、子どもだけ留守番していることを電話相手に知らせないようにする



みんな子育て応援団

みんな子育て応援団



KAGAWA
KID'S CLUB

子育てコミュニティで
口コミ情報検索！

SNS
ソーシャル・ネット
ワーキング・サイト



みんなトクだね 応援団

商品の割引や特典等のサービスを提供するお店。子ども関連の業種はもちろん、美容院などサービス業、ケーキ店や精肉店などの食料品店など加盟店は600店以上。

主なサービス（一例）

料金や入会金の割引、ポイントサービスの加算、お菓子のプレゼントなど

子どもとおでかけ 応援団

授乳室の設置やベビーカーの貸し出し、粉ミルク用のお湯の提供など、子どもとのおでかけを支援する設備や付加的サービスを提供するお店です。

主なサービス（一例）

妊娠さんの優先駐車場設置、授乳室・おむつ替えコーナー・ベビーベッドなどの設置、ベビーカーなどの貸し出し、ミルク用のお湯の提供など

いつも安心 応援団

地域子育て支援活動として、相談窓口の開設や育儿サークル活動を実施する施設です。

主なサービス（一例）

一時保育などを実施している保育所、つどいの広場、児童館、保健センター、図書館、公民館など

県が少子化対策などの一環で1999年に始めた「みんな子育て応援団」。四国新聞社との協働で実施する子育て支援事業としてパ

ワーアップし、「社会全体で子育て家庭を支援する気運を高めたい」という設立当初の願いが、地元香川にしっかりと根付いたようです。

会員になると利用できる！ 充実の子育て支援サービス

「みんな子育て応援団」は、趣旨に賛同・登録した店舗や企業、団体が子育てに役立つサービスなどを提供し、子育て家庭の方は「KAGAWA KID'S CLUB」の会員になることで、それらを利用できるというシステムです。

事業内容は、「いつも安心応援団」「子どもとおでかけ応援団」「みんなトクだね応援団」の3つ。

2010年10月現在で登録加盟店数は約1000件、会員数は6000人以上にのぼります。加盟店や企業の情報は、インターネットサイト「みんな子育て応援団」で公開しており、パソコンや携帯電話から無料で閲覧したり会員登録ができます。

また、ネットならではの情報交換も人気。会員が日記をつづったり、子育ての悩みを相談できます。

子どもの健康管理や育児についての 悩み・不安には…

育児相談から親子の交流まで

■地域子育て支援センター

保育所等に併設し、入所園児に限らず地域の乳幼児子育て家庭が相談可能。

■つどいの広場・かがわの広場

乳幼児を中心とした親子が集い、交流や情報交換を行っている拠点。

専門の相談窓口

■保健所・保健センター

乳幼児の発育や発達、言葉などの相談事業や親子教室など。

■児童家庭支援センター

児童家庭支援センターけいあい ☎0879-25-6067

児童養護施設に併設。地域の関係機関と一緒に、子どもと家庭についての相談。

■児童相談所

子どもや家庭に関するさまざまな相談（子育ての心配や不安、言葉や発達の遅れが心配など）

県子ども女性相談センター ☎087-862-8861

県西部子ども相談センター ☎0877-24-3173

■子育てホットライン

県教育委員会 ☎087-861-4951

家庭教育の悩みや不安に関する電話相談。

■子どもホットライン

県教育委員会 ☎087-835-7867

いじめなど、子どもからの電話相談に、相談員が応じています。

■問い合わせ／県健康福祉部子育て支援課 ☎087-832-3287

父子家庭の方へ

【児童扶養手当】の申請手続きはお済みですか？

2010年8月から児童扶養手当は父子家庭にも支給されます。

11月30日までに申請すれば、8月分または要件に該当した日の翌月分から支給されるようになりました。12月以降は、申請の翌月分からの支給となります。

手当は申請しなければ受給できませんので、該当する方は速やかに申請してください。対象となるのは、次のいずれかに該当する子どもと生計を同じくしている父親です。

① 父母が離婚した子ども

② 母が死亡した子ども

③ 母が一定程度の障害の状態にある子ども

④ その他（母の生死が明らかでない子どもなど）



■問い合わせ／お住まいの市町の児童扶養手当担当窓口の各電話
または県庁子育て支援課（☎087-832-3286）

お得なニュース



10月1日～大川バスの「高松引田線」「五名・福栄線」において、今まで大人の半額だった運賃が上限100円となりました。これで高松駅から引田までもワンコイン100円で乗車できます。この機会に家族でバスに乗ってお出かけしてみませんか。

夜間・救急診療について

病状が急変することの多い子どものために、休日の指定医療機関や夜間救急医療機関などをあらかじめ確認しておきましょう。受診の際には事前に電話連絡が必要です。

休日や夜間に急な病気で困った場合の診療所等

休日や夜間の急病で対応に困ったときは、「#8000」をプッシュすると、看護師への電話相談ができます（必要に応じ医師がサポートする体制です）。受付時間／毎日午後7時から翌朝8時まで※プッシュ回線、携帯電話（主要携帯電話会社3社）からの利用が可能。それ以外は ☎087-(823)1588

高松市夜間急病診療所（内科・小児科）

高松市桜町1-9-12 ☎087-(839)2299

診療時間／「月～土」午後7時30分～午後11時
「午後9時30分～午後1時～午後4時」

赤ちゃんの急病に参考になるホームページ

医療ネット讃岐 <http://www.medinfo.ne.jp/kagawa/>
こどもの救急 <http://kodomo-qq.jp/>



地域のみんなで育てる 地域の触れ合いと農業の大切さを学ぶ

稻作体験学習

林小学校では、林校区健全育成連絡協議会と林地区老人クラブ連合会が主となり、「稻作体験学習」を行っています。小学校や保護者らとも連携し、サポートとして子どもたちに生命の大切さを学んでもらいつつとも、「地域の大人とふれあういい機会となっています。



▲最初は「はだしで泥の中に入りたくない」と言っていた子も、いざ入ってみると率先して田植えに参加するのだそうです



▲今年は140kgを収穫。12月に行われるもちつき大会をみんな楽しみにしています

昔ながらの農業体験 世代を超えた交流

高松市の郊外にある林小学校で稻作体験学習が始まったのは2004年。当時、林校区では地域の大人と子どもたちが一緒にやって取り組む活動が学校行事以外ではあまりなく、そこで、地域の大人と子どもが

収穫したもち米のうち半分はもちつき大会に、半分は11月に行われるチャリティーバザーで販売されます。毎年人気ですぐに売り切れてしまうほど。売り上げはユニセフに寄付してくるそうです。

歴史や楽しさを学び 収穫の達成感満喫

「土地柄、農業体験は初めての子どもが多く、そのため食物が食卓に

並ぶまでの手間や時間などはなかなか分かりません。稻作体験から食べ物や生命の大切さを学んでほしいですね」とは、老人クラブ会長の井口緑さん。昔ながらの稻作を実践することで、教科書でしか知り得ないかつた稻作文化の歴史はもちろん、農業の楽しさ、地域の人や仲間と協力することの大切さを自然と学びます。収穫したときの達成感や食べる喜びはひとしおです。

稻作体験をきっかけに、親子ももちろん幅広い年齢層の地域の大人と子どもたちが触れ合う活動も増えています。登下校時に校区内を地域の人々が見守る『林っこみまもりたい』の活動や、クラブ活動もその一つ。「あるさとクラブ」と称し、郷土料理やグラウンドゴルフ、生け花など、児童のクラブ活動の指導者として地域の大人たちを招き、高い技術

ともに自然に親しみながらできる共同作業を、と始まったのがきっかけでした。

小学5年の社会科で米作りを詳しく学習したことから、体験に挑戦するのは小学5年生のみ。5月の休みから始まり、6月の田植え、7月のたにし・雑草取り、10月の稻刈り、12月のもちつき大会と1年を通じて米作りにかかわります。「昔な



▲草取り機の使い方をしっかり学びます



屋島クラブ

集中力や反復練習の大切さ学ぶ

1992年に発足した屋島クラブ、県内では数少ない陸上競技のクラブチームです。現在、小学3~6年生の男女約80人が参加、週2日(9月~翌3月まで、以降は週3日)の練習に励んでいます。練習会場は、クラブ名に由来する高松市屋島中町の屋島陸上競技場で行っています。

子どもたちが取り組んでいるのは100メートル、ハーダル、走り幅跳び、走り高跳び、ソフトボール投げ、リレーの6種目。それぞれの専門種目に分かれ、能力を磨きます。人数が多いのでコーチの指導に沿って、6年生が下級生をリードしながら練習を進めています。

「練習時間は限られているので、集中力が必要です。子どもたちには、足の上げ方や体の動かし方などを教えてよく聞いて、すぐに反復練習するように指導して

います」と話すのは、クラブの創始者であり指導に当たっている谷本亮信さん。

「ごく基本的なことですが、この姿勢はスポーツだけではなく、学校の勉強においても大切なことです」。同クラブに入って授業にも集中できるようになった、という保護者からの声もあるそうです。

こうした日々の積み重ねの結果、毎年8月に行われている全国小学生陸上競技交流大会(東京・国立競技場)では、数多くの上位入賞者を送り出しています。2010年には、香川県から同大会に出場した20選手のうち、約半数が屋島クラブの子どもたちで占めました。

問い合わせ

屋島クラブ

http://www.geocities.jp/yashima_club/



▲準備ができた子どもから自発的にスタートダッシュの練習が始まっています



▲谷本さんの指導でハーダルのフォームを練習

pick
up

クリスマスイベント特集

かわせみ座 オリジナルマリオネット劇

～バーレルセルの森にて～

●時/12月25日(土)午後2時開演(午後1時30分開場)

●所/サンポートホール高松 4F 第1小ホール



妖精たちの住むバーレルセルの森に、空の星から卵が落ちてきた。中から竜の赤ちゃんが生まれ、住人たちはこわがったり、喜んだりと大騒ぎ。何とか竜の赤ちゃんを育てようとするが…。バーレルセルの森で繰り広げられる、出会いと別れの物語。今年のクリスマスは生き生きとした表現がみずみずしく愛らしい、かわせみ座の人形舞台をお贈りします。料金は大人全席指定一般3000円(会員2800円)子ども1500円(4才以上中学生以下)。

■問い合わせ／サンポート高松 ☎087(825)5000

子どもの国のサンタ学校

～見習いサンタ大募集～

●時/12月23日(木・祝)

午前11時～午後0時30分/午後2時～午後3時30分

●所/さぬき子どもの国 こども劇場ほか



未来のサンタたち、みんな集まれ! クリスマス本番に向けて、見習いサンタを募集。サンタの基礎知識クイズ、プレゼント作り体験や、暗闇を進む疑似体験など、将来サンタになるための修行を行った後、最終課題では子どもの国館内をめぐる謎解きの旅に出発!

終了後、子どもの国のサンタから、サンタ認定書がもらえるよ! 対象は、小学生以上の子ども各回先着30名とその保護者。料金無料。当日こども劇場前にて受付。※その他、館内ではクリスマスにちなんだ工作や遊びも実施しています。

■問い合わせ／さぬき子どもの国 ☎087(879)0500

料
上
無料

重曹で作るシユウシユウ入浴剤
育児の日イベントEnジョー！パパママ

12月19日(日)午後1時～午後4時
所
2階研修室
材料がなくなり次第終了(250セッ

イベント 2010 11月～2011 2月

【見る・体験】

■人形操作ワークショップ

所／五色台少年自然センター
数／14家族(午前・午後各7家族)
●時／12月1日前8時30分～5日受付

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／県立図書館
問／県立図書館
☎087(868)0567

第4日曜日
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

KAGAWA KID'S CLUB 07

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／11月27日(土)、12月25日(土)、1月22日(土)、2月19日(土)午後7時～午後9時
9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

所／サンポートホール高松 7F 第1リハーサル室
時／12月23日(木・祝)午後2時30分～午後4時
※受付11月1日～

問／五色台少年自然センター
料／1家族1500円
☎087(881)4428

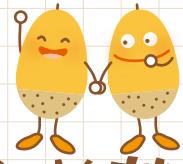
所／五色台少年自然センター
前になつたときにも役立つ本
時／12月12日(日)までの火曜～金曜午前9時～午後7時、土・日・祝午前9時～午後5時

親子で楽しめる

ドングリランド



森あそびイベント満載



高松市の西植田町にある面積31haもの広い森がドングリランドです。ドングリの木が多いこの森で、多くのボランティアが中心と

なって、明るく美しい森づくりを行いながら、子どもも大人も自然とふれあい楽しむことができる場を提供しています。

自然の大切さを学ぶ場

バードウォッチングやネイチャーゲームなど、大人も子どもも参加できるイベントが中心。また、ドングリランドビジターセンターでは、野鳥観察用の双眼鏡や、昆虫や植物観察用のルーペ、図鑑などを貸し出しています。

毎月開催の主なイベント

ドングリランド
ビジターセンター



- 【お山歩隊】.....森の育児サークル活動
- 【ドングリランドの森づくり】 ケワガタの寝床づくり、シタケづくり、植樹、自然観察など
- 【この指とまれ!】 山散策、畑作業・ごはんづくりなど
- 【むしむしたんけん隊】 昆虫採集・標本づくり

会員になって情報通

どんぐりネットワークは、さまざまな人たちが森づくりに参加できる環境をつくり、人と森林が共生できる社会づくりをしています。ドングリネットワークの正会員になると、定期的に会報誌が届き、各イベントの参加料が割引になります。

みんなで遊びにきてね



高松市西植田町6082-2 ☎087(840)4072
どんぐりネットワーク年会費（4月～翌3月）—正会員・個人会員／2000円（10月以降入会の場合1000円）
—家族会員（個人会員の家族）／1人500円



香川県小児科医会 真鍋 正博

KAGAWA KID'S CLUB 11

子育てそばくな疑問

Q

子供たちの肥満が増えていると聞きますが、香川県の子供はいかがですか？ また、なぜ子供の肥満が問題なのでしょうか？ 子供の肥満の原因や改善する方法も教えてください。

A

子供時代の肥満は、生活習慣病の原因となる大人の肥満につながりやすいからです。また、子供でも肥満になると、病気になつたり、不登校などにつながる可能性もあります。悪い生活習慣は早く断ち切るようにしましょう。

日本の子供の肥満数は約30年で3～4倍となりましたが、最近は大きな増加はありません。県内の肥満傾向児は全体的に改善傾向ですが、全国との比較では男女とも幅広い年齢で平均を上回っています。



6歳以降に肥満だった子供の7～8割は、大人になつても肥満になります。肥満の子供の中には、高血圧や糖尿病、肝機能障害、睡眠時無呼吸症といった病気にかかる子もいます。また、太っていることで、じめにあつたり、不登校になる子も多く、それがストレスとなり、過食や運動不足が悪化します。悪循環を断ち切り、肥満を早期改善することが心身ともに健康な生活を送るために大切です。

子供の肥満の原因は、食べすぎと運動不足です。
①肉や乳製品など脂肪分の多い食事が増え、30年で脂肪の摂取量は約3倍に増加。
②いつも身近に食べ物があり、食べすぎる。
③朝食を食べない子供が多く、午前中の活動量が低下、昼夜の食べすぎにつながりやすい。
一人で食事する子供が増え、早食いの普及、ゲームやテレビの時間増加、習い事などにより外で体を動かす時間が減少などが指摘されています。

食事と運動を改善すれば肥満は解消できますが、本格的な肥満になる前、保護者が「ちょっと太ってきたな」とおきましょう。

メタボリックシンдро́мと診断された場合は、専門家の食事療法を受ける必要があります。その他の場合は、年齢にあつた標準食を食べます。太り気味の子供は食事を変えるだけでも徐々にやせらりますが、運動量を増やすことも大切です。通学や授業以外に、週3回30分運動することから始めましょう。

肥満でない場合は今すぐ減量の必要はありませんが、生活習慣の乱れに気を付けることが大切です。体に悪い生活習慣を続けると、将来太って病気になるリスクが高くなります。大人になつてから、長年の習慣を変えたり、基本的な運動能力を習得することは大変です。子供時代から気を付けておきましょう。

地域子育て支援センター「にこにこクラブ」

育児の悩みも気軽に 母子と地域の交流の場

さぬき市にある石田保育園は、0歳から6歳までの未就園児とその家族が無料で、気軽に参加できる「にこにこクラブ」を実施しています。子どもは年齢に合わせて作った木製の遊具で遊び、お母さんは常駐している2人の保育士に育児相談もできます。

▲月に一度、開かれるお誕生会。誕生日の子はもちろん、そうでない子も、その日参加すればみんなで楽しく時間を過ごせます

必要な時、気軽に相談 気分転換できる場所

「にこにこクラブ」は月々土曜の午前9時から11時30分まで、石田保育園2階の広い部屋で行われています。常駐している保育士と子どもが遊んでいる間に、お母さん同士でおしゃべりに花を咲かせる光景も見ら



▲在園児と一緒に秋の運動会にも参加できます

「にこにこクラブ」は、無料で参加できるイベントも開催しています。月ごとにのお誕生会のほか、地元のシルバー人材センターや地域のボランティアグループの協力によるイベントを多数企画しています。核家族で暮らす子どもたちにとって、おじいちゃん・おばあちゃんと同じ世代の人とふれあう機会は貴重です。

ほかに、地元消防署による救助指導や栄養士による栄養指導など、プロの講習が受けられるイベントもあります。お母さんたちの調理実習で

地域住民と触れ合う イベントを多数開催

毎週月・木曜は、無料で参加できるイベントも開催しています。月ごとにのお誕生会のほか、地元のシル

バーハンセンターや地域のボランティアグループの協力によるイベントを多数企画しています。核家族で暮らす子どもたちにとって、おじいちゃん・おばあちゃんと同じ世代の人とふれあう機会は貴重です。

また、月々金曜の午前9時～午後2時は園庭を開放しているので、遊具を使って保育園児と遊ぶこともあります。妊婦さんも参加できる育児相談は、月～金曜の午前9時半～午後4時まで。子育てがしやすい環境が整い、地域のお母さんにとって貴重な場です。



▲シルバー人材センターの人たちを呼んでふれあい会。紙コップでロケットを作りました

れます。また、傍らでは保育士に育て相談をするお母さんも。

「自宅で育児をしているお母さんの中には、子どもとの過ごし方がワシントン化したり、ぐずったときの対処法が分からなくなったりと、子育てに行き詰まる方も少なくあります」



表現の手段は言葉だけじゃない 手話を通して触れ合う心

「子どもたちにいろんな人とかかわってほしい」との願いから、2000年度より取り入れられた手話教室。3歳～5歳までの園児たちは、手話を通じて何を見、何を感じているのでしょうか。子どもたちの表現力育成に力を入れる城北幼稚園を取材しました。

言葉だけじゃない！ 表現力豊かに育つ園児



▲年齢に応じて優しく教えてくれる山田先生。おうちに帰ったら家族の人にも教えてあげてね

◀クラスごとのレッスンでは、みんなで輪になるのが定番。友だち同士の顔を見ながら、楽しく覚えています



城北幼稚園では月に1度、手話の講師によるボランティア教室を開いています。教えてくれるのは、丸亀市を中心に活動する「丸亀手話サークル亀の子会」会長の山田肇子さんと森本由美さんです。

「自分の思いを表現する方法は言葉だけではありません。手話を覚えることで、体や指文字を使って表情豊かに伝えられるようになります」とは、園長の細川幸穂さん。音楽や陶芸、絵画なども取り入れている同園では、手話も表現力育成のひとつ。当番活動にも用いるなど、子どもたちにとって手話は園生活の一部となっています。また、『地域の子ども』という意識が高い城北地区ではお年寄りとのかかわりも多く、難聴者に呼びかける時には自然と肩をトントンする園児の姿も少なくないが、

いとか。手話は、相手の立場や気持ちを考える人権の心も養ってくれます。

手話「一」ラスを通して 園から地域への輪

頑張って覚えた手話は、手話コールとして地域のイベントなどで発表の場を設けています。「一生懸命練習した成果を披露することで、手話の魅力や大切さをみんなに知つてもらえたうれしいですし、手話をきっかけにいろんな人と話が広がればいいですね」。

現在は、12月20日に開催される「学校支援ボランティアフォーラム」でのオープニングセレモニーに向け、5歳児による手話「一」ラスを練習中。「親子で一緒に参加してもうえれば」と、保護者にも募っています。園から家庭、そして地域へ。手話を通じて、人との触れ合いがつながっています。